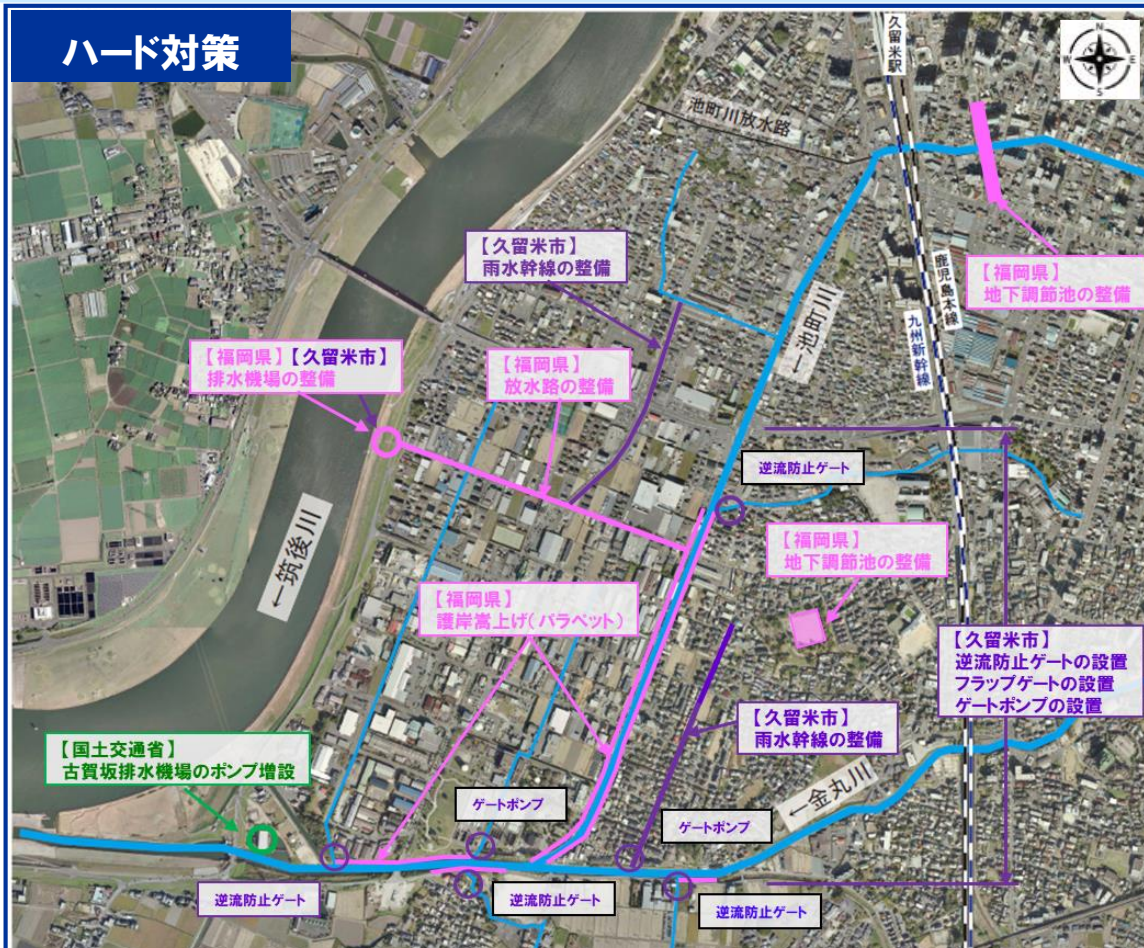


金丸川・池町川総合内水対策計画

平成30年7月の大雨により多くの家屋等が浸水する被害が発生した金丸川・池町川流域において、国・県・市が連携して令和2年3月に「金丸川・池町川総合内水対策計画」を策定し、令和2年度より対策事業に取り組んでいます。

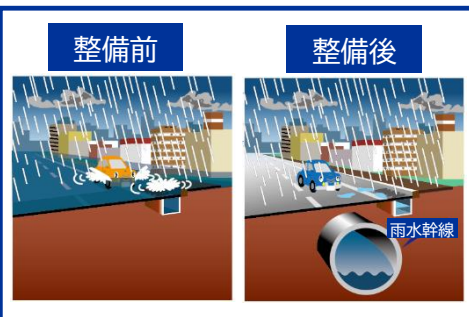
また、ハード対策のほかにソフト対策として、水門・樋門の開閉状況をHPで公表、ウェブ版ハザードマップの導入等を実施しています。

ハード対策



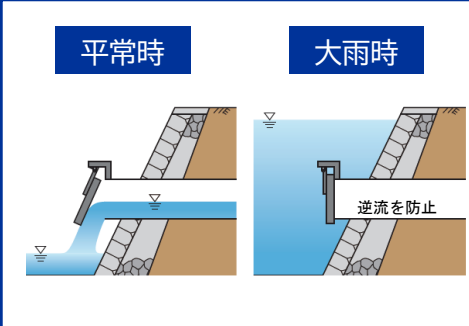
- : 国土交通省で実施
 - : 福岡県で実施
 - : 久留米市で実施
- R3年度は、
- ・各ハード対策の設計
 - ・フラップゲート、雨水幹線、護岸かさ上げの一部工事を実施します。

久留米市が実施する主なハード対策



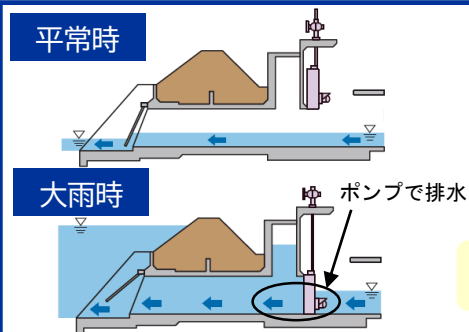
【雨水幹線】

大雨時に水路や側溝で流しきれない雨水を集めて、河川へ排水し、水路等から雨水があふれるのを軽減します。



【フラップゲート(逆流防止扉)】

平常時は、水の流れて扉が開き、河川へ排水します。
大雨時に河川の水位が上昇すると、扉が閉まり、河川からの逆流を防止します。



【ゲートポンプ(ポンプ付水門)】

大雨時に自然な排水が困難な場合、水門に設置している排水ポンプで、強制的に排水します。

ハード・ソフト対策を併せて実施します。

